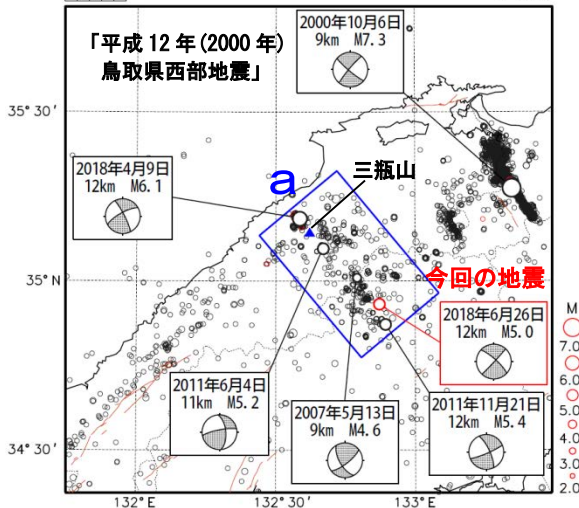
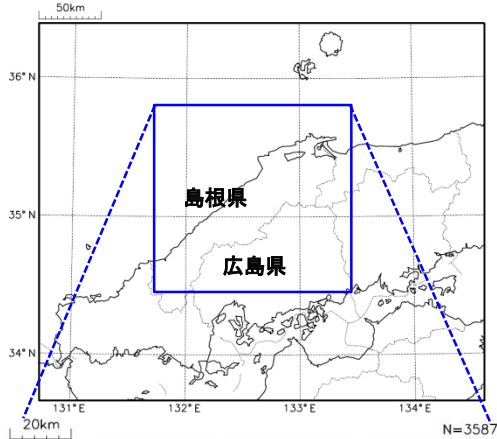


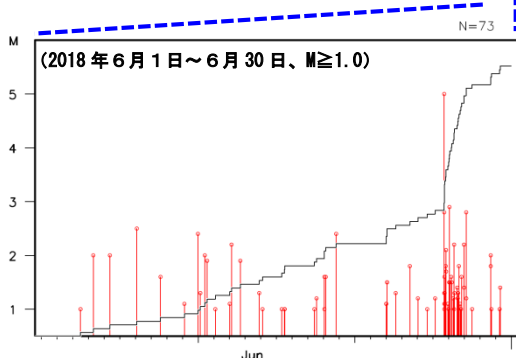
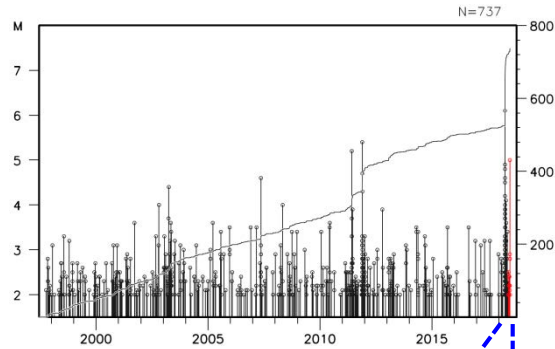
6月26日 広島県北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2018年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$
2018年6月の地震を○で表示
青色の▲は活火山を示す)



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域 a 内のM-T図及び回数積算図

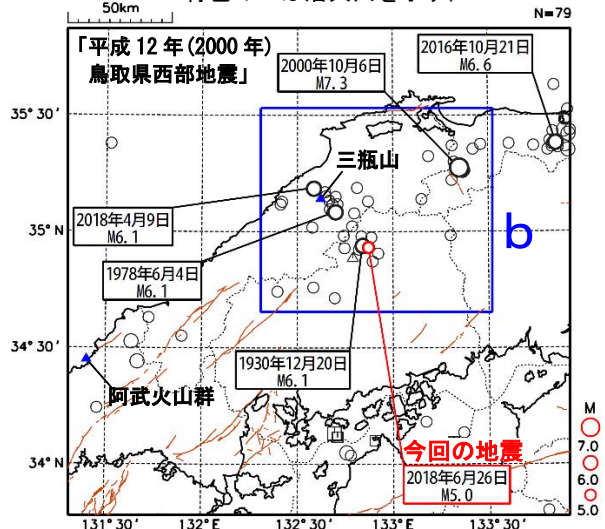


2018年6月26日17時00分に広島県北部の深さ12kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生以降、震度1を観測する地震が6月30日までに3回発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2011年11月21日にM5.4の地震(最大震度5弱)が発生し、負傷者2人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。最近では、2018年4月9日にM6.1の地震(最大震度5強)が発生し、負傷者9人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。1930年12月20日に発生したM6.1の地震では、住家破損1棟などの被害が生じた。また、「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」(M7.3)では、負傷者182人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

震央分布図
(1923年1月1日～2018年6月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$
2018年6月の地震を○で表示
青色の▲は活火山を示す)



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域 b 内のM-T図

